

# 新規事業評価調書

## 【道路事業】

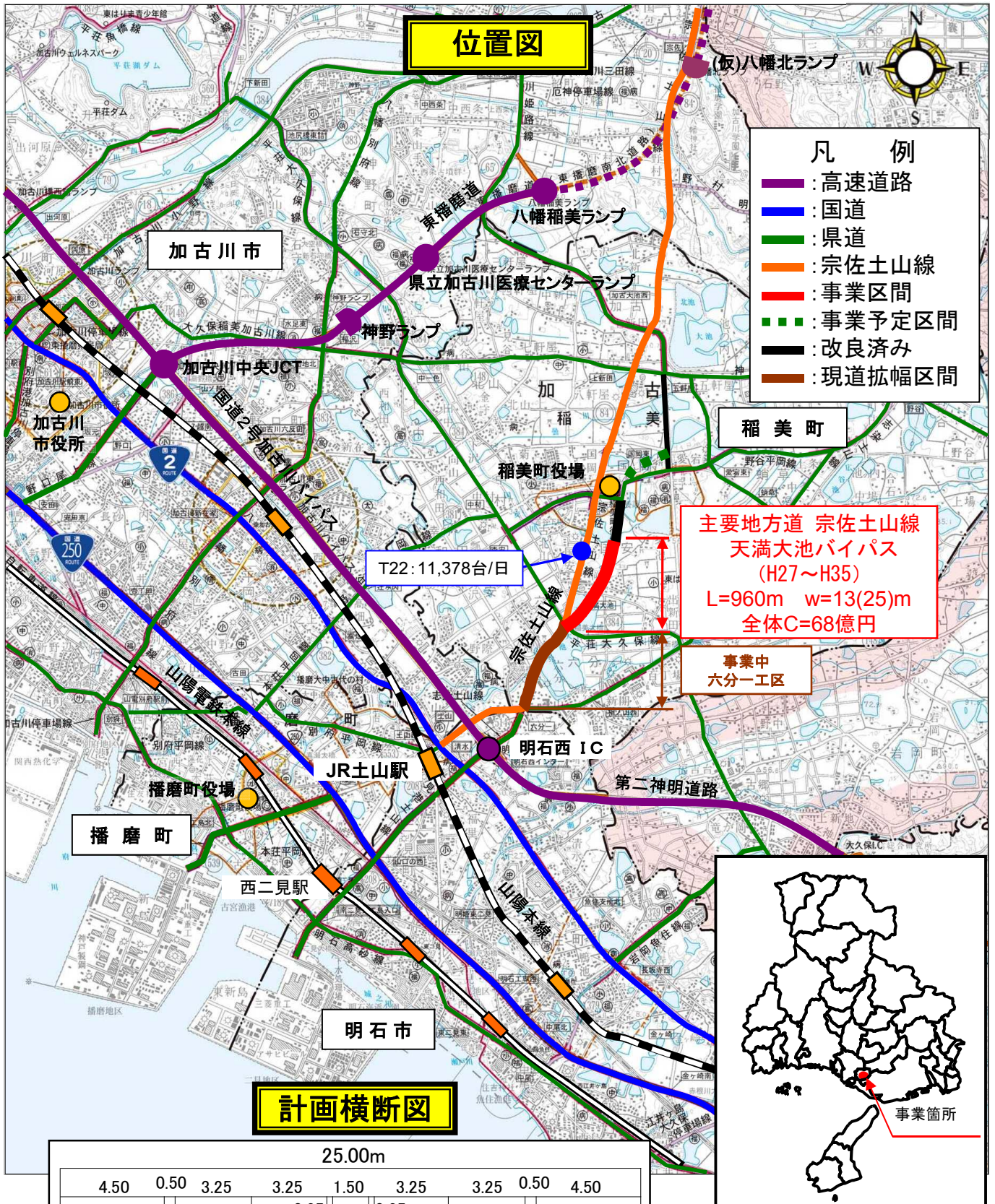
主要地方道 宗佐土山線

県土整備部

土木局 道路街路課

## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 門間 俊幸 (県道班長 金川 正敏)	内線	4362 (4376)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
道路事業	道路改築事業 主要地方道宗佐土山線 天満大池バイパス	加古郡稲美町 国安～六分一	68 億円	14 億円	平成 27 年度	平成 35 年度
事業目的			事業内容			
<p>本路線は、加古川市北部から稲美町中心部を経由して第二神明道路(明石西 IC)を連絡する重要な道路である。</p> <p>○円滑な交通の確保 幅員狭小を解消し、円滑な自動車交通を確保する。</p> <p>○交通安全性の向上 歩行者や自転車利用者等の安全な通行を確保する。</p> <p>○良好な市街地形成と活性化 稲美町の計画的なまちづくりに合わせた良好な市街地形成と活性化を図る。</p>			<p>【延長】道路改築 960m</p> <p>【構造規格】第 4 種第 1 級</p> <p>【計画幅員】4 車線 両側歩道 車道 13m (全幅 25m) (都市計画幅員 25m)</p> <p>【計画交通量】14,700 台/日 (H42 予測)</p> <p>【現道交通量】 自動車：11,378 台/日 (H22 センサス) 歩行者・自転車：528 人・台/12h (H26.4) 〔負担割合 国：55%、県：45%〕</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①現道の人家連坦部は幅員が狭小(5.4m)であり、大型車・バス等の円滑な自動車交通に支障をきたしている。また計画交通量が 14,700 台/日と多く、4 車線バイパスにより円滑な交通の確保を図る必要がある。</p> <p>②周辺小中学校への通学や、JR 土山駅・山陽電鉄西二見駅への通勤・通学による歩行者・自転車交通が多く、自動車交通との錯綜もあって、当該区間では過去 5 箇年 (H21～H25) に 53 件の交通事故が発生しており、歩行者や自転車利用者の安全確保が必要である。</p> <p>③当該路線は稲美町中心市街地を貫く(都)二見稲美三木線の一部である。良好な市街地を形成しまちの活性化を図るため、周辺の土地区画整理事業の進展にあわせ、当該路線の改築を進める必要がある。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①費用便益比B/C=1.6</p> <p>②4 車線化により、移動時間の短縮および交通事故の減少が図られる。</p> <p>③完成後の現道管理の移管については稲美町との協議済み。</p> <p>④地元自治会より早期整備の要望がなされており、事業執行環境が整っている。</p>					
(3) 環境適合性	<p>①現道の通過交通が本路線に転換され、自動車に起因する道路交通騒音や大気環境に関する沿道環境が改善される。</p> <p>②車道部は排水性舗装による騒音低減効果により沿道への影響を抑える。また、歩道部については透水性舗装にすることで、雨水の還元を図る。</p> <p>③天満大池のアサザ(環境省レッドリスト 準絶滅危惧種、兵庫県レッドデータブック Bランク) 群生地に配慮するため、地域住民や土地改良区組合、有識者等が参画した検討委員会においてルート選定。</p>					
(4) 優先性	<p>①今後、交通量の増加が見込まれ、さらに周辺地域の安全で円滑な交通の確保、幹線道路へのアクセス向上のため、早期供用が必要である。</p> <p>②(都)二見稲美三木線において、北側は土地区画整理事業による道路整備が完了し、また南側も平成 26 年度に完了予定であるため、引き続き事業着手が必要である。</p>					
【事後評価】 対象・対象外	①費用便益の 3 便益に加え、地域の連携・交流等の効果について検証し、事後評価を行う。					



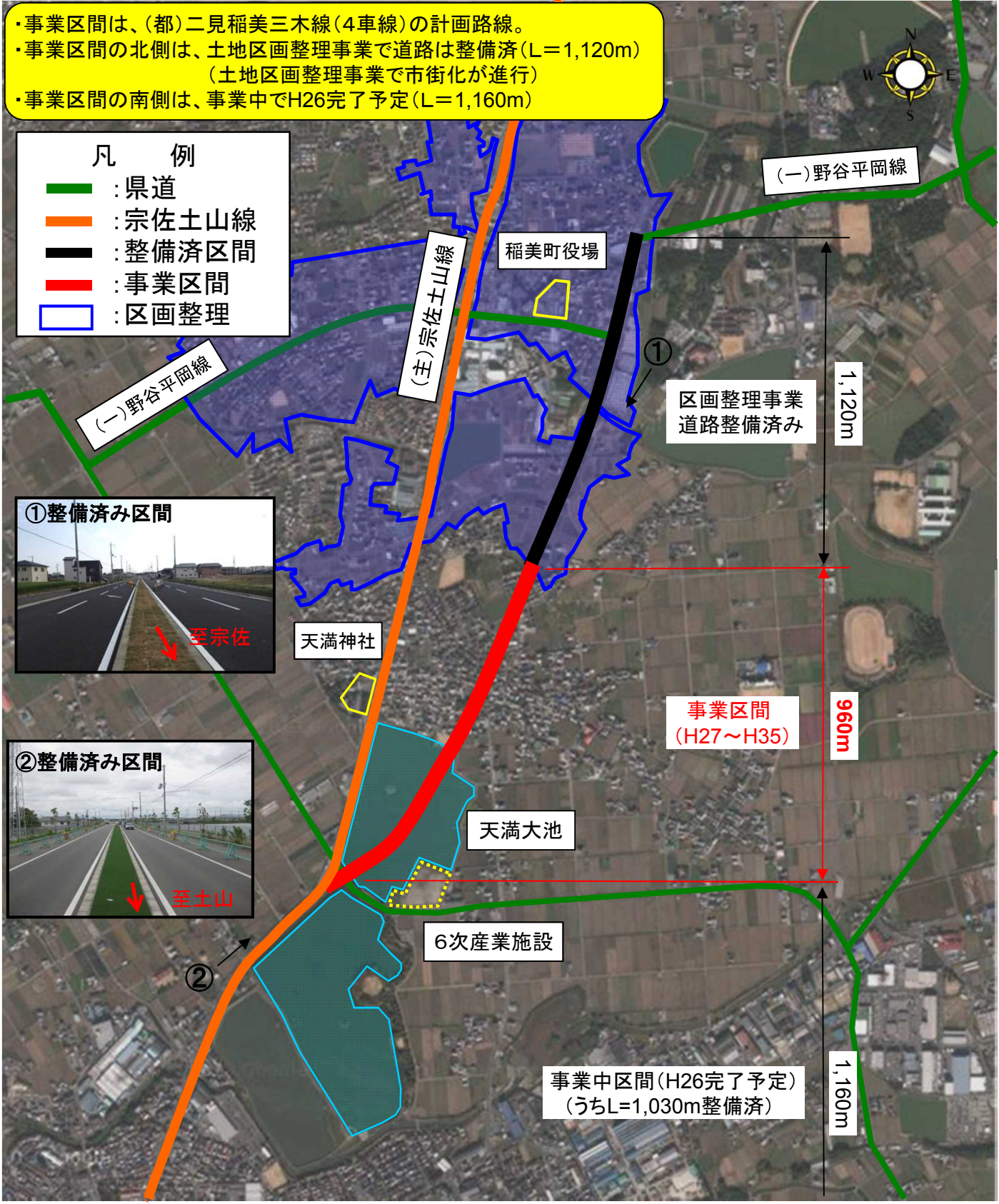


# 周辺状況図

- ・事業区間は、(都)二見稲美三木線(4車線)の計画路線。
- ・事業区間の北側は、土地区画整理事業で道路は整備済(L=1,120m)  
(土地区画整理事業で市街化が進行)
- ・事業区間の南側は、事業中でH26完了予定(L=1,160m)

**凡 例**

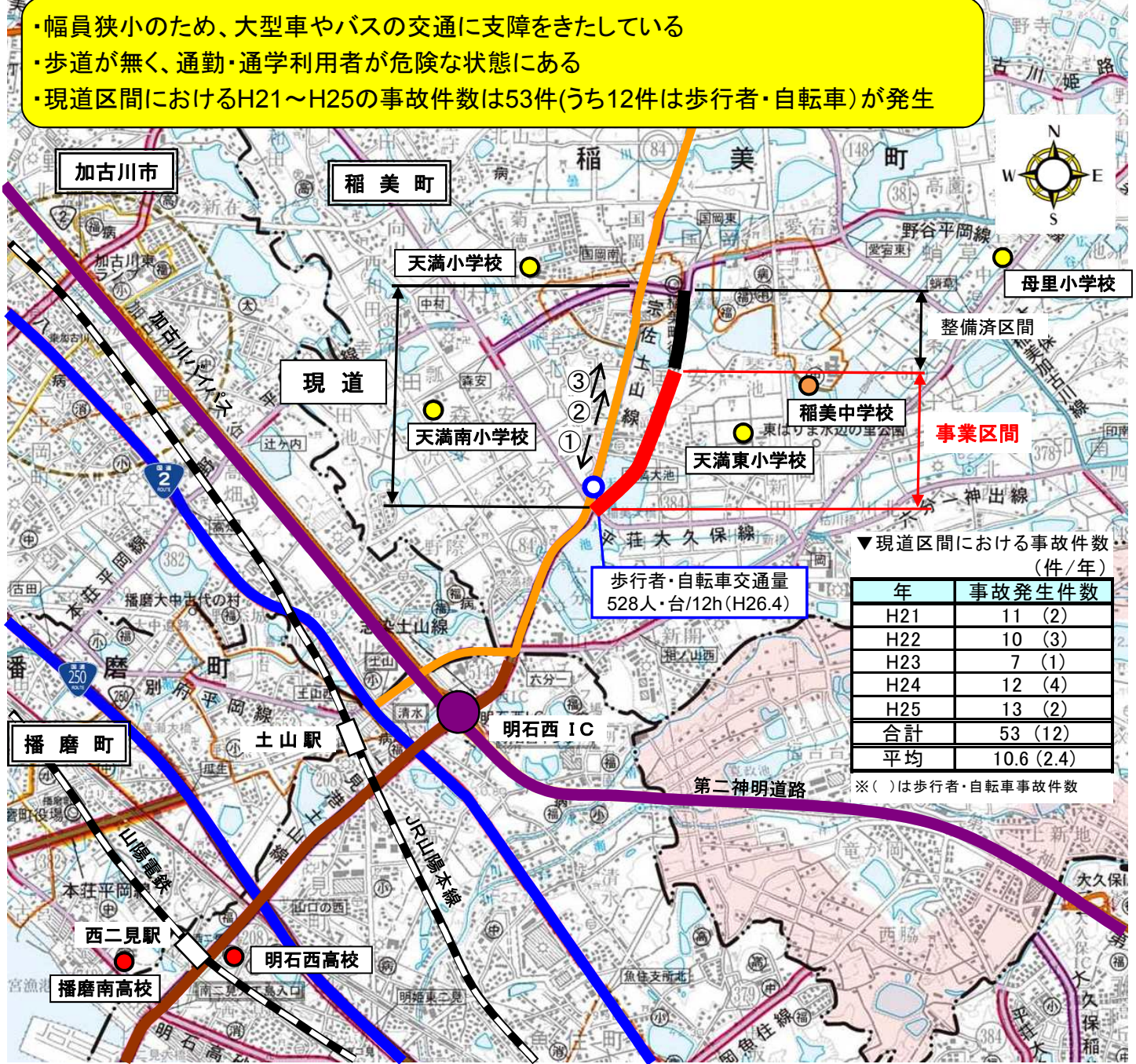
- : 県道
- : 宗佐土山線
- : 整備済み区間
- : 事業区間
- : 区画整理





# 交通の円滑化と安全性の向上

- ・幅員狭小のため、大型車やバスの交通に支障をきたしている
- ・歩道が無く、通勤・通学利用者が危険な状態にある
- ・現道区間におけるH21～H25の事故件数は53件(うち12件は歩行者・自転車)が発生



歩行者・自転車交通量  
528人・台/12h(H26.4)



1. スケジュール  
当初計画

工種	年度									
	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
調査・設計	■									
用地補償		■								
本工事(土工部)				■						
本工事(橋梁)					■					

2. 事業効果について

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

事業	B(便益)	算出方法
道路	① 走行時間短縮便益 ○ 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無し of 走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365 \text{日}$
	② 走行経費減少便益 ○ 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無し of 走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行経費原単位} \times 365 \text{日}$
	③ 交通事故減少便益 ○ 交通事故が減少することによる便益	整備無し of 事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位})$

② 費用便益比(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)			B / C
		便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
道路	主要地方道 宗佐土山線 天満大池バイパス	① 走行時間短縮便益	7,454	計画交通: 14,700台/日 (H42)	5,516	5,412	104	1.6
		② 走行経費減少便益	1,245					
		③ 交通事故減少便益	291					
		計	8,990					

(2) 費用対効果に含まれない主な効果

- ① 第2神明道路(明石西IC)等、幹線道路へのアクセス性向上による中心市街地の活性化
- ② 大型車等の自動車交通の安全で円滑な交通の確保
- ③ JR土山駅等への通勤・通学利用における歩行者・自転車の安全性の確保

## 道路街路事業の効果

対象事業：道路事業（主）宗佐土山線 天満大池バイパス

### （１）費用対効果

効果項目（費用対効果の便益内容）	
走行時間短縮	目的地までの時間短縮
走行経費減少	走行速度の向上や走行距離の短縮による便益
交通事故減少	交通事故の減少による人的損害額、物的損害額及び渋滞による損失額等

### （２）費用対効果に含まれない効果

○印は当該事業効果の主な項目

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
①安全・安心の確保	災害時	○ 緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保（緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備）
		○ 救助・救援活動の支援（災害時の通行不能や孤立集落の解消）
		○ 減災対策への取組み（二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保）
	平時	○ 救急医療体制の支援
		○ 交通安全対策
②地域の活性化	○ 地域間交流の促進	
	○ 中心市街地の活性化	
	○ 地域産業の活性化	
	○ 観光支援	
	○ 地域プロジェクト等支援	
③円滑な交通体系の確保	○ 公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	
④地域の環境改善	○ 沿道環境の改善 景観形成	
		○ 緊急輸送道路としての機能を強化 稲美中央病院（二次救急医療施設）へのアクセス
		○ 宗佐土山線（現道区間）通行止め時の代替道路機能の強化
		○ 延焼防止機能の確保
		○ 稲美中央病院（二次救急医療施設）へのアクセス
		○ 通過交通のバイパス転換による現道利用者の安全性の向上
		○ 稲美町から周辺都市へのアクセス機能の向上
		○ 稲美町から周辺都市へのアクセス機能の向上による稲美町中心市街地の活性化
		○ 稲美町から周辺都市へのアクセス機能の向上による稲美町の産業の活性化
		○ いなみ文化の森等観光地へのアクセス機能の向上による稲美町の観光活性化
		—
		○ 幹線道路（明石西IC）や鉄道駅（JR土山駅）へのアクセス性向上による利便性の向上
		○ 通過交通の転換による現道の沿道環境の改善 歩道部を透水性舗装とし雨水を地下に還元

### （３）地域からの要望状況等

要望状況等	①稲美町自治会より宗佐土山線の早期整備を求める嘆願書が提出されている。
-------	-------------------------------------